

# 新農薬実用化試験・成績検討会の概要報告

## 落葉果樹，常緑果樹，芝草，生物農薬，家庭園芸

日本植物防疫協会 調査企画部

平成 26 年度新農薬実用化試験成績検討会は、10 月に茶と寒冷地果樹を、11 月に稲野菜関係を全国 8 地域に分けて開催してきた。引き続き 12 月に開催した落葉果樹、常緑果樹、芝草、生物農薬、家庭園芸の 5 分野について成績検討会の概要を報告する。

### I 落葉果樹成績検討会

12 月 9 日～10 日に都内日暮里のホテルラングウッドで開催し、全国 37 道府県の試験機関をはじめ委託企業の関係者など約 310 名が参加した。冒頭、当協会の上路雅子理事長より、協会として短期暴露評価導入に伴う既登録剤維持のための緊急助成を



挨拶する上路理事長

決めたことを報告し、2 会場に分かれて会議が開始された。

本年は病害 262 件、虫害 232 件とほぼ前年並みの試験成績を検討。病害は農研機構果樹研究所の中畝良二上席研究員と須崎浩一上席研究員、虫害は果樹研究所の井原史雄上席研究員と新井朋徳上席研究員のリードで検

討がすすめられ、試験法や評価基準についても議論が及んだ。初日の終了後に開催した懇親会には多くの関係者が参加し、熱心な意見交換が行われた。

### II 常緑果樹成績検討会

12 月 10 日～11 日にホテルラングウッドで開催。例年、落葉果樹の検討終了後の開会となることから病害は予定通り 15 時からスタートしたが、虫害は落葉果樹の検討会が長引いたことから、予定を遅れ 13 時 30 分すぎの開会となった。会議には約 220 名が参加。

本年は病害 70 件と前年並みであったが、虫害は 137 件と前年よりも 3 割ほど多い試験成績を検討した。病害は農研機構果樹研究所カンキツ研究興津拠点の足立嘉彦主任研究員、虫害は同所の望月雅俊上席研究員のリードで検討が進められた。10 日夕刻の懇親会では果樹研究所の高梨祐明カンキツ研究領域長にご挨拶をいただき、参加者は 2 日連続の疲れも見せず交流を深めた。

### III 芝草成績検討会

12 月 15 日～16 日にホテルラングウッドで開催。芝草病虫害対策はかつて都道府県試験研究機関でも課題となっていた時期があったが、ゴルフ場農薬問題が下火になって以降、試験の実施主体は各地のグリーン研究所や協会研究所が中心となっている。会議にはこれら試験機関の担当者と委託企業の関係者など約 90 名が参加。

本年は虫害 33 件、病害 149 件といずれも前年よりも減少という概況の中、虫害関係試験成績の検討からスタートした。虫害は静岡県ゴルフ場協会の廿日出正美技術顧問（元静岡大学）と当協会信頼性保証室の宮井俊一技術顧問、病害は農研機構畜産草地研究所の月星隆雄研究調整役、当協会信頼性保証室の高橋賢司技術顧問および田代定良専門調査役にそれぞれ委員をお願いした。本年



落葉果樹の成績検討会，都内で開催